

体育学講義 2単位(秋学期)

スポーツの技と文化を探る
秋学期: 火3

植田 史生
村松 憲
村山 光義

授業科目の内容:

2012年ロンドンオリンピックで世界記録保持者のジャマイカ・ウサイン・ボルト選手が100m・200m走で2大会連続で金メダルを獲得した。彼の速さの秘密はどこにあるのだろうか?また、日本のハンマー投げの室伏広治選手は37歳で銅メダルを獲得した。彼の美しい回転動作はどのように完成しているのだろうか?スポーツを行う人も、観る人も、オリンピックやワールドカップに現れる究極の身体に興味をそそられるのではないのでしょうか。

人間の身体能力によって極め、伝承されてきた「技」「技術」はスポーツ文化の重要な構成要素であり、人類の遺産といえるでしょう。本講義は、人間のスポーツ技能の獲得や伝承を基礎に置き、スポーツの技と文化を幅広く解説することを目的としています。世界の多様なスポーツの歴史と変遷、日本のスポーツ文化、スポーツ技術の運動連鎖の謎などを解説し、技の伝承という営みのあるスポーツ文化について理解します。そして、そこから競技者に、スポーツ愛好家に、またスポーツを観るファンに示唆されることは何か?ということについても、共に考えたいと思います。

授業の計画:(内容と順序は変更になる場合があります)

- 1 イントロダクション
スポーツ文化の多様性の紹介
- 2 投げる技術
人類の進化の証明 スローイング・ピッチング・シューティング
Ex. 人間が最も遠くに投げられた物体と距離は?
- 3 動画を見ながら考える、トップアスリートの技術①
野球のピッチング、テニスのサーブ、バドミントンのスマッシュ、バレーボールのスパイクの共通点を動画から見出す
- 4 動画を見ながら考える、トップアスリートの技術②
野球のピッチング、テニスのサーブ、バドミントンのスマッシュ、バレーボールのスパイクの共通点を動画から見出す
- 5 動画を見ながら考える、トップアスリートの技術③
人体の構造とスポーツ動作のしくみ
- 6 動画を見ながら考える、トップアスリートの技術④
運動連鎖を考える
- 7 スポーツ文化の歴史の変遷①
ヒトはいつから“スポーツ”をしたのか?
- 8 スポーツ文化の歴史の変遷②
オリンピックの歴史と話題
- 9 世界記録はどこまで伸びるか
陸上競技の記録変遷を中心に 走・跳・投の限界は?
Ex. ウサイン・ボルト 世界最速の技術、ジャマイカの秘密
- 10 世界のスポーツ文化 マイナースポーツ クリケット カバディ セパタクロー フライングディスク
- 11 スポーツと遊び
PLAY論とスポーツの変化
- 12 武道にみる心技体の完成
- 13 「猫の妙術」 武芸の古文獻から技の伝承を学ぶ
- 14 身体知とは何か 技の解明へのアプローチ
技術の獲得・伝承の科学—スポーツ上達の鍵は何か?
- 15 まとめ

成績評価方法:

最終授業時間内に行う試験による。

テキスト(教科書):

特になし

参考書:

授業の中で紹介します

担当教員から履修者へのコメント:

授業では内容に沿ったビデオ、DVDなどの映像等を用いて、スポーツの技と文化について講義してきます。体育会系・人文系に限らず、新たなスポーツの見方を持つことができるでしょう。

質問・相談:

授業終了時に随時受け付けます。